

海外レポート ～タイ編～

配信日 2016/12/16
タイトレーニー 上田 裕貴

【はじめに】

はじめまして、池田泉州銀行タイトレーニーの上田と申します。バンコクに赴任し2ヶ月が経ちました。タイ第2弾となる今回は2016年10月に国王陛下が崩御され、自粛ムードが現在も続いているタイの足元の経済状況、開催された展示会(METALEX)、来年度開催予定のものづくり商談会についてレポートいたします。

【タイ国王陛下崩御について】

皆様もご承知の通り、タイでは2016年10月13日にプミポン国王陛下が崩御されました。プミポン国王は1946年から約70年間在位し、国民からも「国父」として非常に敬愛されていたため悲しみはタイ全土に広がりました。

また今回の国王陛下崩御に伴い、軍事政権からは直ちに以下の発表が行われました。

- (1) 全ての公的な場所、国営企業、政府関係機関及び教育機関は、10月14日より30日間半旗を掲揚する。
- (2) 全ての公務員及び国営企業従業員、政府機関職員は、10月14日より1年間喪に服す。
- (3) 娯楽活動は、30日間自粛する。
- (4) 一般国民は、適切な行動を考えて行動する。

(4)にあるように、国民に対して任意で喪に服すように呼びかけたところ、街中は黒い洋服を着た人々で溢れかえり、イベントや祝事（結婚式等）も自粛が相次ぎました。



※写真は BTS アソーク駅の様子

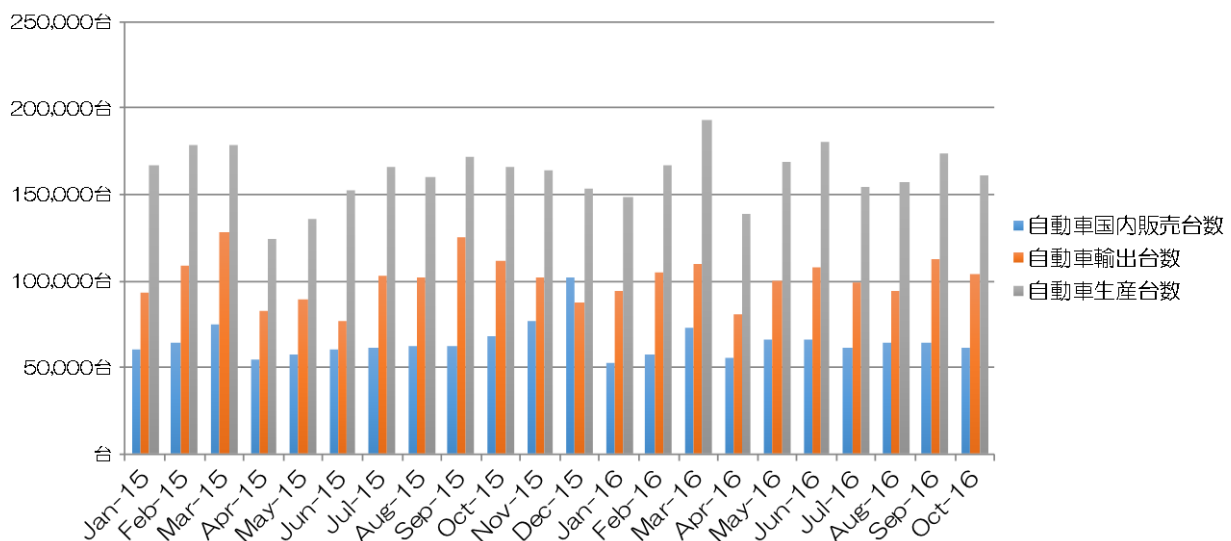
現在も上記写真のように街中は黒い洋服を着た人ばかりです。毎年11月に行われているタイの一大行事であるロイクラトン祭りが一部地域で中止されたり、実施された地域でも花火の打ち上げが政府より禁止されたりと自粛ムードは国王陛下崩御から約2ヶ月経った今も続いています。

【足元の経済状況】

ここでは、国王陛下崩御による現時点での経済活動への影響を検証すべく、タイ経済を牽引する自動車業界及び観光業界の足元の動向について述べていきます。

① 自動車業界

タイにおける製造業のGDPに占める割合は28%と一番多く、製造業の中でも自動車産業が占める割合はとりわけ大きいです。2013年5月頃より政府の新車購入奨励制度終了の影響を受けて長らく低迷していましたが、2016年1-9月の自動車生産台数・国内販売台数はそれぞれ147.7万台（前年同期比+3.1%）、55.7万台（前年同期比+0.5%）と回復傾向を辿っていました。しかし、今回の国王陛下崩御による自粛ムードの影響からか2016年10月の自動車生産台数・国内販売台数はそれぞれ16.1万台（前年同期比▲2.6%）、6.1万台（前年同期比▲10.7%）と不調に終わりました。



（出所）タイ工業連盟（FTI）自動車部会公表の数値を基に独自作成。

また今後についても引き続き自粛ムードによる自動車販売台数の低迷及びアメリカ大統領交代による自動車輸出台数への影響なども懸念されており、タイの自動車業界は正念場が続きます。

② 観光業界

タイは2015年度観光客数29,881千人（日本は19,737千人）と世界でも屈指の観光国です。国王陛下崩御直後はタイへの観光キャンセルが相次ぎましたが、現在そのような動きはほとんどなく観光シーズンを迎えたタイの街中は観光客で賑わっています。

タイ観光客数の動向

	2015年				2016年								
	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
観光客数(千人)	2,035	2,229	2,549	2,987	3,001	3,089	2,949	2,643	2,477	2,433	2,946	2,874	2,407
前年比増減(%)	8.9	1.0	5.1	4.7	15.0	16.0	15.4	9.8	7.6	7.2	10.8	9.9	17.7

（出所）タイ中央銀行（基データはタイ観光協会）

2016年8月爆発事件以降も好調を維持

また政府は観光客誘致のため、2016年12月から2017年2月まで中国など19カ国からの観光ビザ申請料を免除するなどの政策を新たに打ち出しました。（日本は観光目的であれば最大30日までビザ無しで滞在可能。）

国王陛下崩御に伴い、バンコクではワットプラケオなどの観光名所は一時観光客の立ち入り禁止措置がとられましたが、逆にアユタヤではアユタヤ史跡公園などへの入場料を無料（2017年1月30日迄）にするなど観光客を引き留めるための措置がとられました。タイを訪れる観光客の中で人気になっているゴルフについても、コンペを行い騒いでいた一部の日本人が軍に連行されたというニュースが流れましたが、通常通りプレーする分には問題ございません。（ただしコンペは好ましくないと考えられます。）現にゴルフ場に行けばたくさんのタイの方がゴルフをされています。歓楽街についても以前の活気を取り戻しており、やはりタイにとって観光産業というものは無くてはならない産業であることが伺えました。

【METALEX について】

2016年11月23日～26日にかけて Read Tradex 社が主催する METALEX（メタレックス）という展示会が開催されました。国王陛下崩御の影響で当初は開催が危ぶまれていましたが、無事に開催されました。本展示会は日本・中国・韓国・台湾・シンガポールなどアジア企業のほか、イギリス・ドイツなどの欧州企業も出展しており、東南アジア最大の展示会とされています。出展していた日系企業は自動車部品メーカーや商社が中心であり、改めて自動車産業関連企業のタイに対する関心の高さを実感いたしました。



BTS Bangna 駅から徒歩 1 分の場所にある BITEC（バイテック）を展示会会場とし、世界 50 カ国から 3,300 ブランドがブースを出展。4 日間で来場者数は約 9 万人となりました。



写真からもお分かりいただけるように現地のワーカーや学生もこの展示会に訪れており、会場は非常に活気に溢れていました。

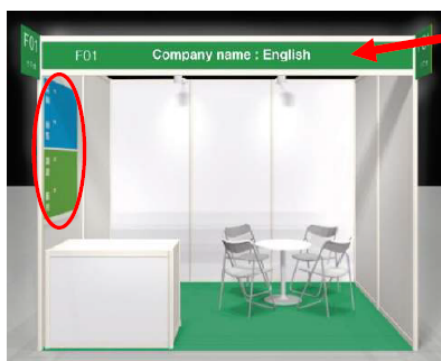
【ものづくり商談会について】

2017年6月21日～23日にかけて、「Mfair バンコク 2017 ものづくり商談会」が開催されます。当行は2016年に引き続き2017年も共催することが決定しました。

出展料金も海外の商談会の中では比較的安く、自社商品の海外での反応を確かめる絶好の機会です。海外展開に少しでもご興味ございましたら、まずはこのような展示会に一度ご出展してみたいかがでしょうか。

詳細は以下の通りです。

- 【名称】 Mfair バンコク 2017 ものづくり商談会 **(池田泉州銀行共催)**
- 【概要】 製造企業及び関連企業が材料や部品の現地調達や、自社製品の販路拡大のために調達・販売品を展示し、タイローカル企業や在タイ日系企業と商談する業界特化型の展示会+商談会
- 【会場】 BITEC Hall 105 (本レポートにある METALEX の会場と同じです。)
- 【出展ブース】 6㎡ (幅 3.0m×奥行き 2.0m×高さ 2.5m)



看板は英語表記で統一となります

＜ブース標準設備＞

- ①社名ポスター (日/英表記) ※丸囲み箇所
- ②商談テーブル*1台、椅子*4脚
- ③鍵付きキャビネット*1台
- ④電源コンセント (220V) *1
- ⑤スポットライト*2灯

- 【出展料金】 **当行経由料金 65,000THB** (通常出展料金 80,000THB)
- 【商談コマ数】 最大 30 コマ/3 日間 (事前マッチング制)
- 【商談会出展】 200 社 (予定)
- 【来場者】 9,000 名 (想定) ※2016 年来場者は 3 日間で 7,000 人
- 【主催】 Factory Network Asia(Thailand)Co.,Ltd/Read Tradex Company Limited
- 【申込締切】 **2017年2月17日**
- 【お問合わせ】 池田泉州銀行 アジアチャイナ推進部 担当：三村(ミムラ)・吉田(ヨシダ)
TEL 06-6375-3491 E-mail asia_china01@sihd-bk.jp
(受付時間 平日 9:00～17:00)

- 1.このレポートの内容は、情報の提供を目的としたものであり、本レポートに関連して生じた一切の損害について、株式会社池田泉州銀行 (以下「当行」という) および当行グループは責任を負いません。ビジネスに係る最終決定はお客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。
- 2.このレポートに記載されている情報には公開情報からの引用および著者の個人的見解が含まれております。かかる情報の正確性・適切性等について当行および当行グループは何らの検証も行っておりません。また、これを保証するものではありません。
- 3.このレポートの内容は、お客様限りでご使用下さい。当行および当行グループの事前承諾なく、本レポートの全部若しくは一部を引用または、複製、転送等により使用することを禁じます。